

# 2年間の新たな執行体制を確立



発行元  
神戸交通労働組合  
〒 653-0004  
神戸市長田区四番町 2-1-2  
神戸交通労働組合会館  
TEL 078-575-6712  
FAX 078-575-3848  
編集発行人  
佐藤 秀樹  
毎月 15 日発行  
定価 1 部 10 円  
組合員の購読料は組合費に含まれる



2025 年 3 月に実施した役員選挙及び中央委員選挙度において、常任執行委員 5 名、執行委員 7 名、中央委員 16 名が決定しました。そのうち、新たに常任執行委員が 4 名、執行委員が 3 名、中央委員が 2 名選出されています。

## 【常任執行委員】

執行委員長

奥 博之

副執行委員長

坂倉 正和

書記長

藤野 雄大

自動車部長

佐藤 秀樹

高速鉄道部長

平尾 岳洋

## 【執行委員】

石屋川自動車支部長

熊本 哲也

中央自動車支部長

花田 健次

車両支部長

水口 朝史

高速乗務支部長

西垣 伸哉

高速駅務支部長

清水 龍太

高速技術支部長

寺田 剛士

本局支部長

山本 裕二

## 【中央委員】

石屋川自動車支部

田中 健一

藤野 司

中央自動車支部

筑後 達也

高石 大輔

白石 寿仁亜

車両支部

福原 直斗

高速乗務支部

林田 吉博

里岡 誠

角野 貴章

橋本 築

谷 汰志

高速駅務支部

安原 克徳

山崎 功貴

高速技術支部

田中 貴大

松岡 裕

松本 嵐士

本局支部

平野 雅浩



## 組合員資格の公示

取得

4/1 新規採用

「乗合自動車運転士」

藤井 秀成、田中 聡

新井 友樹、笹 洋介

村田 優子、玉寄 愛莉

「地下鉄駅係員」

大野 徹己、久保田 一矢

長谷 叡樹、長野 壮千代

森 一翔、赤石 一晟

「地下鉄電気機械技士」

田口 敬章、實重 勇希

今西 謙心、箕輪 登唯

濱田 和弥

4/1 再任用

池田 卯月男（高速駅務支部）

4/1 本務（2/1 新規採用）

阿部 聡（中央自動車支部）

4/1 異動 係長職

井高 好貴（本局支部）

喪失

松尾 昭博（中央自動車支部）

早川 裕二（高速技術支部）

新たな執行体制での運営が始まり、フレッシュな組合員も加入しました。これまでの知識や経験に新たな発想力を加え、先を見据えた運動を進めていきますので、全組合員のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

対局交渉（4月2日）

# 当局より職場応援加算制度ならびに 夏季作業手当の考え方が示される

4月2日に対局交渉を行い、当局より、「勤勉手当における新たな加算制度（職場応援加算）」について「などの提案を受け、組合から、新たな加算制度については、出面職場・日勤職場に関わらず、欠員等が生じた場合、一部の職員にのみ負担がかかることがないよう申し入れ、夏季作業手当の創設については、各職場の作業環境や熱中症リスクのある業務については、職場内で安全衛生委員会などで調査し対策等について検討するよう申し入れました。

## 《勤勉手当における新たな加算制度（職場応援加算）について》

【当局】 勤勉手当における新たな加算制度については、市労連交渉において提案され、妥結されたところであるが、そのうち、職場応援加算に関する交通局の取り扱いについて提案させていただく。

「1. 概要」についてであるが、次世代育成支援推進のため、育児休業等取得する職員がいる所属において、代替職員の配置がなされない場合、その職員が担っていた業務を担当した職員（以下、「応援職員」）に対して、勤勉手当の支給額を加算する。また、年度内退職等についても、代替職員の配置がない所属においては、業務を代替する職員の負担を考慮し、勤勉手当の支給額を加算する。

「2. 内容」について、対象者

は、「産前産後休暇・育児休業を取得している職員がいる」、「年度内に退職した職員がいる」、「その他、各種休業制度の取得等で上記に準じる職員がいる」所属において、代替職員の配置等がない期間について、所属長が応援職員として認める者とするが、表に掲げる対象職場（いわゆる出面職場ではない日勤職場）で業務に従事する職員に限ることとする。

算定期間は、4月～3月の年1回とし、反映時期は、算定期間の翌年度の6月期とする。

加算金額は、対象所属に、代替職員の配置等がない期間1月につき24,000円を付与し、所属長により、応援職員に1人1月あたり6,000円を上限に加算する。

実施時期は、令和7年度の算定期間について、令和8年6月期の勤勉手当へ反映することとする。

【組合】 まずは、出面職場や日勤職場に関わらず、欠員補充をしつかり行い、職員の負担を軽減することが必要ではないか。

【当局】 局としても、体制も考慮しながら採用等を行うことで、できる限り欠員が生じないよう努めてまいりたい。

【組合】 出面職場について、なぜ対象職場に入っていないのか。

【当局】 いわゆる出面職場においては、勤務時間中の標準的な業務量・人員が決まっており、欠員が生じた場合は、公休出勤・時間外勤務で対応することとなるため、その部分については手当されていると考えている。一方で、職員それぞれに事務負担を割り当てて業務を行う日勤職場では、長期の欠員が生じた場合、分担を再配分する必要がある、割り当てられた職員に負担がかかることとなることから、対象職場としている。

【組合】 出面職場について、今後、再検討の余地があるのか。

【当局】 本制度の趣旨や先ほどの対象職場の考え方を踏まえて、今後検討が必要となったときには、相談させていただく。

【組合】 出面職場・日勤職場に関わらず、欠員等が生じた時の対応に

において、一部の職員にだけ負担がかかるように、各職場の管理職が時間外の管理をしつかりしてもらいたい。

【当局】 各所属にしっかりと伝えさせていただく。

【組合】 持ち帰り協議する

## 《特別勤務職員の夏季休暇の取り扱いについて》

【当局】 令和7年度付与分より、特別勤務職員（ただし、営業所副所長は除く。）の夏季休暇について、業務の都合により、9月30日までに与えることのできた場合については、現状の取得状況を踏まえ、翌年3月31日まで有効とすることができることとする。

ただし、甲種電気車運転講習受講者については、引き続き翌5月31日まで有効とすることができることとする。

なお、取得の単位等その他の取り扱いに変更しない。

【組合】 持ち帰り協議する。

## 《特殊勤務手当の改正等について》

【当局】 特殊勤務手当の改正等について提案させていただく。「1. 夏季作業手当の創設」であるが、「（1）概要」として、近年、夏季



においてこれまで経験したことのないような気温上昇が常態化しており、熱中症リスクが高まっているなか、まずは、熱中症予防のための職場環境等の改善が重要であると考えているが、公務の運営のためやむを得ず熱中症リスクのある環境において業務に従事する必要があるものについて、業務の危険性を鑑み夏季作業手当を創設する。

「(2) 対象業務の要件」であるが、①環境省が公表する地点名「神戸」における湿球黒球温度(WBGT)が28℃以上を記録した日の日中(7:00～19:00)に行う必要がある業務。②屋外で行う必要がある業務。なお、屋根のある半屋外等であって、屋外と同等以上の熱中症リスクがある環境で行う必要がある業務について、今後調査を行い検討する。③1時間以上、負荷の高い身体作業を行う必要がある業務。④交通局が管理する土地建物またはその近辺で行う必要がある業務。とする。

「(3) 支給額」は日額200円とするが、3時間以上対象業務に従事した場合、日額500円とする。

「(4) 実施時期」は、令和7年6月1日とする。

次に、「2. 災害応急対応等派遣手当の改正」であるが、「災害応急対応等派遣手当」について、国の災害応急対応作業等手当と同水準になるよう、支給額を日額1,000円から1,080円に改

正するものである。詳細については、提案資料の「(1) 改正概要」の表を確認いただきたい。

「(2) 実施時期」は令和7年4月1日とする。

【組合】 交通局内における熱中症の発生状況や、各職場内での熱中症予防対策はどのように行っているのか教えていただきたい。

【当局】 令和6年度においても、複数の職場で夏場の熱中症と疑われる事案が発生していることは認識しており、職場の熱中症対策としては、各所属での送風機等の設置やファン付き上着の導入の他、瞬間冷却材、塩タブレット、経口補水液の配布行っている。

【組合】 現時点で夏季作業手当の「(2) 対象業務の要件」に該当すると考えている業務は具体的にあるのか。

【当局】 現時点では、日中に屋外で作業を行う営業所のターミナル整理員の業務、保線区の鉄道軌道の保守管理業務、施設課・変電区・電気区の屋外での設備保守管理業務を想定している。

夏季作業手当については、業務上やむを得ず熱中症リスクのある環境において業務に従事する必要があるものについて、業務の危険性を評価し手当を支給するものである。そのため、上記以外の業務については、まずは、職場の環境改善や熱中症対策の工夫を行っていくことが

必要であると考えている。それでもなお、熱中症リスクの高い環境であれば、職場の状況を聞きながら、調査の上で検討していく。

【組合】 地下鉄車両課の検車区や市バス車両課など、屋根がある場所での作業でも屋外作業と同等またはそれ以上の熱中症リスクがあるのではないか。また、先ほど挙げた業務以外についての調査はいつまでに行うのか。

【当局】 屋外と同等以上の熱中症リス

クがあると考えてられる部署については、現場の状況も見ながら、5月末までには調査をすすめていきたい。

【組合】 各職場の作業環境や熱中症リスクのある業務については、職場内で安全衛生委員会なども開催されていると思うのでその中でもしっかりと調査し対策等について検討してもらいたい。

【当局】 熱中症対策については、各職場においてもしっかりと議論・検討してもらうよう、周知していく。

## 近畿ろうきん からのお知らせ

神戸市職員の皆さまへ

近畿ろうきん

# ろうきん財形

ろうきん財形なら、元本保証で安心。

〈ろうきん〉の財形貯蓄は、定期預金による積立てだから、元本保証で安心。さらに預金保険制度（ペイオフ）の対象商品です。財形貯蓄の詳しい説明書はろうきん営業店窓口へ備え付けてあります。

メリット 1 **給与からの天引き**

毎月の給与や賞与から、天引きで積立てられるので、計画的な貯蓄ができます。

メリット 2 **職場での手続き**

新規申込みも、積立額変更の申込みも、払出しも、職場で手続きができるからとっても簡単です。

メリット 3 **非課税**

住宅財形と年金財形を合わせた元利合計額が550万円に達するまで、利息に税金がかかりません。

森川 葵

ろうきんイメージモデル

個人型確定拠出年金 **ろうきん iDeCo** (イデコ)

財形貯蓄とあわせて、税制優遇制度を利用して将来へ備える「iDeCo」をおすすめします。ご相談からお手続きまで、ろうきん職員が職場へお伺いします。お気軽にお問い合わせください。

ろうきん iDeCo スペシャルサイト

募集期間 2025年 **5月1日** (木) ~ **5月26日** (月)

募集内容 **新規および積立額変更の申込み** 開始・変更は9月分給与から

ライフイベントに応じた積立額の見直しをしませんか？

**住宅資金**

約497万円

※住宅金融支援機構「2023年度フラット35（私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等減免制度について）」より、全世帯利用者への手付金

毎月6万、一時金14万で5年で500万円

財形住宅がオススメ

**教育資金**

約1,073万円

※文部科学省「令和5年度子供の学習費調査」「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等減免制度について」より

毎月4.5万、一時金11.5万で14年で1,078万円

一般財形がオススメ

**セカンドライフ資金**

約1,590万円

※総務省統計局「令和5年家計調査報告（家計収支編）」を基として作成（65歳以上の夫婦のみの世帯世帯の世帯収入より不足額65歳から100歳までの必要に達した場合の金額）

毎月5万、一時金10万で20年で1,600万円

財形年金がオススメ